

■Oliver ECOLOGY

FSC® 認証材の使用

オリバーは、森林資源を有機的に活用するために、Forest Stewardship Council® (FSC®: 森林管理協議会) による認証(※)を受けた輸入材や国産材を使用しています。これによって、家具材として使う木材は、どこの森林でどのように管理されてきたのかが証明され、違法伐採などで流通している木材ではないことが明白になります。

つまり、適切に管理された森林は生態系を保護する役目も果たしており、その環境下で安全に管理された森林から木材を供給することで、オリバーは環境保護を支援する活動を推進しています。

※FSC®は1993年に設立された非営利の国際機関で、森林を適正に管理し、保持していくことを目的としています。FSC®認証は、「FM認証」と「CoC認証」の2つに分けられます。

<p>FSC/CoC 認証登録証</p> <p>Forest Stewardship Council® (森林管理協議会) オリバーのFSC®認証番号 SGSHK-COC-002829</p>			<p>FSC® 認証の輸入材</p> <p>ビーチ</p> <p>温帯域に生育する落葉樹。木材表面の斑点が特長で、硬く均一性のある粘りと弾性に富んだ材質です。</p>	
---	---	---	---	---

国産材の使用



檜(国産) 耐久性に優れ、特有の芳香が特性の天然素材。淡い黄白色～淡紅色をしています。

オリバーは、地球温暖化防止に資する活動として国産材の利用促進を図る林野庁の「木づかい運動」に賛同するとともに、国産材各種を使用した家具づくりを行っています。これによって森林の手入れが行き届き、CO₂の発生を抑制するなど環境保全への効果が期待できます。各地域の国産材をはじめ、杉や檜、栗、竹などの間伐材や端材なども広く使用し、森林を守りながら木材を適正に消費していく持続可能(サステナビリティ)なシステムを背景に、人や環境にやさしいエコロジカルな家具づくりに尽力しています。

VOCの発散を抑えた家具の製造

シックハウス対策としてVOCの発散を抑えた家具の製造は、オリバーが取り組んできた成果のひとつです。VOCとは人体に有害とされるホルムアルデヒド、トルエン、キシレンなどが含まれます。特に合板や繊維板、パーティクルボードおよび接着剤は、F☆☆☆以上(JIS・JAS認定材料)を使用、ホルムアルデヒドの放出を抑えた素材を使って家具づくりを行っています。また抗菌および消臭効果のある素材を積極的に採用し、身体にやさしい家具づくり、空間づくりを実現しています。



ホルムアルデヒドの放出を抑えた素材を使用しています。



有害物質の放出量(室内濃度の社内自主検査風景)

グリーン購入法に適合した製品の企画開発と提供

グリーン購入とは、製品やサービスを購入する際に、環境に考慮する必要性を十分に考え、価格や品質、デザインだけでなく環境への負荷ができるだけ少ないものを優先的に購入することです。オリバーでは、グリーン購入法で定められた製品の企画開発を積極的に行い、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会の構築に貢献しています。



グリーン購入法適合製品マーク

品質と環境に関する2つの国際規格を取得

オリバー豊橋工場は、1999年11月、業務用家具の分野では国内初のISO(国際標準化機構)が定めた国際的な品質保証規格[ISO9001]認証を取得しています。[ISO9001]は製品の設計、開発、製造、検査、保管、引渡し等各工程の品質管理システムを顧客の立場に立って評価するもので、EU諸国を中心に世界120ヶ国で国家規格として採用されています。これにより、オリバーの品質保証体制が国際レベルである事が認められました。また2000年9月、ISO(国際標準化機構)が定めた国際的な環境マネジメントシステム規格[ISO14001]認証も新たに取得しました。

<p>ISO 14001 適合証明書</p> 	<p>ISO審査機関認定・登録マーク</p> 
---	--

低炭素型社会の実現に向けて、豊橋工場に「太陽光パネル」を設置

オリバー自社の豊橋工場に「太陽光パネル」を設置しました。これにより、年間石油量換算13,897リットル、二酸化炭素換算で19,254kgを削減することができ、低炭素型社会の実現に貢献しています。

